



広報

まつの

平成26年

2月号

February

成人おめでとう
平成26年成人式





1/3

松野町成人式



町民センターで平成26年成人式が行われました。

今年の成人者は、松野中学校第41期（平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ）の卒業生、町内に在住している外国人留学生ら37名で、当日は32名が出席しました。

成人者たちは、皆、初々しいスーツや、艶やかな振袖に身を包み、会場を華やかに彩っていました。

式典では、阪本町長から「社会人としての義務と責任を担うこととなるが、その責任をしっかりと心に刻んでこれからの人生を歩んでいただきたい。」とエールが送られたほか、関本議長、愛媛県知事からもお祝いの言葉が贈られました。

その後、新成人一人ひとりが、「成人として責任感を持って生活していきたい」、「大学で学んだことを松野に帰って活かしたい」、「松野の代表として県外で頑張っていきたい」、「後世に名を残すような人間になりたい」などと、思い思いに抱負を述べました。中には、「お酒が飲める年になったので、飲みすぎないようにしたい」とか、「久しぶりに会った友人に太ったと言われたので、ダイエットに励みたい」などという豊富もあり、会場に笑いを誘いました。

また、成人者代表あいさつでは、松崎寛史さんが「失敗を恐れず立ち向かっていく勇気を兼ね備え、そして人心緑化の精



成人者代表あいさつをする松崎さん

神を忘れず、郷土の未来を築く担い手として期待と信頼が得られるよう努力したい。」と力強く語りました。

式典終了後には、恒例の記念撮影が行われ、その後、会場を虹の森公園レストラン遊鶴羽に移し、懇親会が行われました。久しぶりに会う級友や恩師との会話も弾み、ふるさとでの楽しいひとときを過ごしていました。

新成人の皆さん、大人の自覚と責任を持って大いに飛躍してください。



請願 町議会議員の品位を欠く言動の責任の明確化と是正措置並びに豊岡後部落に対する名誉の回復を求める請願書について

▼継続審査

議案 愛媛県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について
 愛媛県市町総合事務組合からの構成団体の脱退に伴う財産処分について
 愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体から脱退に伴う財産処分について
 松野町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
 松野町介護保険条例の一部を改正する条例について
 松野町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について
 平成25年度松野町一般会計補正予算（第4号）
 平成25年度松野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
 平成25年度松野町簡易水道特別会計補正予算（第2号）
 平成25年度松野町介護保険特別会計補正予算（第3号）
 平成25年度松野町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）

▼ 原案どおり可決

意見 TPP（環太平洋連携協定）に関する意見書

▼ 原案どおり可決

諮問 松野町人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

▼渡邊能子氏の推薦に同意

補正予算の概要

平成25年度松野町一般会計補正予算（第4号）

補正額：33,541千円（補正後の予算額 3,099,308千円）

【主な補正理由】

民生費では、障害者福祉費に、実績見込みによる重度心身障害者医療費5,210千円を追加。保育所費に、鬼北町近永保育園への本町からの入園者数の増による、広域入所児童委託料1,639千円を追加。県補助事業を活用して、保育園の入園申請、保育料算定、各種許認可、国への補助申請等を行うための、子ども・子育て支援システム構築委託料4,242千円を計上。衛生費では、環境衛生費に、住宅用太陽光発電システム設置費補助金について、申請件数の増に対応するため、5件分の補助金960千円を追加。農林水産業費では、広域基幹林道整備費に、県からの事業委託金の追加による物件補償費など、3,745千円を追加。土木費では、砂防事業費に、県補助金の追加内示により、2か所分の集落・避難路保全斜面地震対策事業に係る工事請負費9,349千円を追加。住宅管理費に、国庫補助金の追加内示により、公営住宅豊岡団地の給湯器等設置事業費1,632千円を追加。災害復旧費では、林業施設災害復旧費に、本年9月3日から4日かけての台風17号により、林道上目黒線の法面等が崩壊する災害が発生したことから、その復旧費1,547千円を計上。公債費では、平成24年度同意地方債の借入額と利率の確定に伴う調整により、元金を470千円追加し、利子を1,685千円減額。

平成25年度松野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

補正額：452千円（補正後の予算額：676,047千円）

【主な補正理由】

国保連合会が管理している被保険者に係る健診、医療及び介護データの閲覧等を、システムを活用し、保健センターで行えるようにするため、総務費に、国保総合システムネットワーク配線委託料315千円を追加。機械器具費137千円を追加。

平成25年度松野町簡易水道特別会計補正予算（第2号）

補正額：220千円（補正後の予算額：88,179千円）

【主な補正理由】

総務費に、管理経費の調整により、作業員賃金244千円追加。燃料費141千円を追加。光熱水費94千円を追加。公債費では、平成24年度に発行した補償金免除繰上償還に係る簡易水道事業債借換債の利率確定に伴い、長期債元金を215千円追加。長期債利子を485千円減額。

平成25年度松野町介護保険特別会計補正予算（第3号）

補正額：△1,000千円（補正後の予算額：685,301千円）

【主な補正理由】

実績見込みに伴う保険給付費の調整として、保険給付費のうち、介護サービス等諸費5,800千円減額。高額医療合算介護サービス等費1,000千円を減額。介護予防サービス等諸費を5,800千円追加。

平成25年度松野町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正額：△541千円（補正後の予算額：61,959千円）

【主な補正理由】

平成24年度における事務費負担金等の確定に伴う納付金の精算に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金541千円を減額。

一般質問

土居 一誠 議員

松野西小学校正面登校路周辺の環境整備について

①整備構想について

町長 答弁

町道西校線は、松野西小学校児童及び松丸保育園園児の多くが通学・通園する、桜並木やツツジに囲まれた歴史が薫る登下校路で、その周辺環境は松丸街道の街並みに溶け込んだ地域住民の憩いの空間となっています。

最近では、森の国さくらの会によるスポーツ広場周辺の桜の植樹や福祉団地のさくら草など、桜ヶ丘の環境美化、再生が図られています。一方では登校路周辺の広い斜面には花も付けない桜の古木や雑木が散在しているほか、沿道のツツジも手入れ不足となっています。特に、桜の古木は枝枯れも目立ち、高木の剪定などの管理作業が必要となっており、今回の補正予算において、芝不器男の句碑周辺及び登校路の桜、ツツジの剪定経費を追加計上し、保育園の土手周辺と併せて環境整備に取り組みることとしています。

先ずは森の国さくらの会などの関係団体と併に西小学校正門や永昌寺付近などの現地踏査を実施し、樹木の状態を確認後、現存する樹木の整理、桜の古木の伐採と改植、新たな樹種の選定などについて検討しなければならぬ時期と思います。

今、考えられることは、特に桜の改植においては森の国さくらの会に協力をお願いする一方、まちおこしの観点から新たな樹種として、同じバラ科の「あんず」を植えてみてはどうか。宇和島藩とゆかりのある長野県旧松代藩、千曲市は「あんずの里」で有名で、長年にわたる花や実の観賞、観光への取り組みは参考にするべき成功例と言えます。

また、松丸地区の環境と調和した里山開発、環境整備に取り組むには、今年度策定予定の「松野町景観計画」における良好な景観形成に関する方針との整合性を図る必要もあり、良好な景観を形成するには、町

民の理解と協力はもちろんのこと、共通のビジョンをもって環境整備を推進していきたいと考えています。

②管理体制の構築について

町長 答弁

現状では、松野西小学校正門周辺の環境美化、樹木の管理作業は小学校PTAや松丸保育園の保護者が年間2回程度ボランティアにより取り組んでいたのですが、今年においては、その時期に、台風等の襲来により作業が中止されたことから、手入れ不足の感があったことは事実です。

このことから今回の補正予算で樹木等の剪定経費を追加計上して取り組むこととしていますが、管理体制の構築は喫緊の課題と言えます。

PTAや保護者会の活動継続はもちろんのこと、高齢化社会における高齢者の生きがい活動を創出し、森の国さくらの会を含め、年間を通じた管理体制を充実させ、地域の自主的かつ積極的な活動による景観の保全に努めなければならないと思います。

森の国松野町の豊かな自然、誇れる農村景観を後世に引き継ぐため、地域住民との協働によるまちづくりを強力に推進していきたいと思っています。

また、西小学校正面登校路には松本敬愛氏の記念碑や芝不器男の句碑、校門を入ると二宮金次郎の銅像が建立されており、歴史と伝統を垣間見ることが出来ます。記念碑や句碑から伝わる無言の教養は、子どもたちの道徳観を養う上で重要であり、町を代表する先人等を崇拝することは、将来の人間性を形成するために大切なことだと思います。そして、近年では環境に対する興味・関心を高める教育活動、環境教育が重要視されています。身近な自然に触れること、学校の周りに生育する花や木々に関心を持ち、植栽や管理作業に携わることには子どもたちにとって有益です。

まさに、松野町が宣言している「人心緑化の町宣言」や「松野町環境景観美化宣言」のとおりであり、自然に感謝し自然との共生や精神を目指す「森の国美しいまちづくり」を推進し、総合的な学習活動を通して、

子どもたちの健全育成、心の教育に努めていきたいと思っています。

町内コミュニティバス（巡回）の運行時間の再検討について

①高齢化社会の進展に伴う交通手段の確保について

町長 答弁

本町のコミュニティバスは、宇和島自動車株式会社の本に、町内業者により組織された松野町旅客運送業組合に運行管理を委託し、目黒循環線、蕨奥循環線をそれぞれ1日5便、上家地線を1日3便、葛川線を1日2便の全4路線を状況に応じて、運行時間や車両を変更しながら現在に至っています。

平成24年度の利用者数は、延べ15,866人。運行経費は14,585千円となっています。その運行経費の財源としては、生活交通バス路線維持・確保対策事業費補助金の2,725千円と使用料1,232千円、残りの10,628千円については一般財源により運営を行っております。

高齢化社会の進展に伴う交通手段の確保については、現在運行していない豊岡・延野々地区において平成23年度に試験的な運行を実施し、利用者のニーズ調査を行いました。利用者が無かったことから、新規路線での運行は見合わせました。

また、現在運行中の路線においても、利用者数が極めて少ない便もあり、今後の運営方針として、減便もやむを得ない状況にあります。高齢化社会の進展に向けて公共交通の充実を図るためには、より地域の声を敏感に捉え、効率的で幅広いニーズに応えられる手法の検討が必要であると考えており、一昨年度からデマンド型乗合タクシー等の検討をはじめるところです。本年度においても、一定の成果を上げている山口県山口市や熊本県菊池市の先進事例の研究等を

行っています。

今後においても、より良い公共交通の在り方を検討し、今後の高齢者福祉対策等を交えながら、地域住民のニーズに応えられる体制を検討していきたいと考えています。

② 高校生の部活動、時間外授業への対応について

町長 答弁

学生が通学する学校や学年、部活の種類、各学校の時間外授業などがそれぞれ異なり、また、季節による時間や通学するJR列車、民間バス便などによる変動も考えられることから、大半の学生が同じ時間帯に常時利用することは難しいのではないかと思われるため、基幹的公共交通機関であるコミュニティバスで、個々のニーズにすべてに対応することは困難です。

今後、関係者等と話し合いの機会を設け、地域の実情や現行制度、また現在検討を進めているデマンド方式の組み合わせなどにより、この特化した問題について検討したいと考えています。

米の生産調整（減反）廃止に伴う今後の見通しと対応について

① 補助金廃止後、どのような変化が生じると予測されるか、どうなるのが望ましいと考えるか。

町長 答弁

先般 政府はコメ政策を約半世紀ぶりに大きく転換し、1970年に始まった生産調整、減反制度を5年後の2018年度を目途に廃止することや、補助金を見直す新たな政策を決定しています。

国は、農地の集約化を進めて競争力を高めるため、すべてのコメ農家を一律に補助する保護策から決別し、大規模化による生産性の向上を促す方針であり、転作を進める農家には補助金を拡充し、飼料用米などの生産では、収量に比例して交付単価が増える新たな仕組みを取り入れる考えです。

また、2014年度には、減反に参加する農家に交

付している10aあたりの定額補助金を、15,000円から半額の7,500円とし、新しい交付金である「日本型直接支払い」制度を創設して、農地を守る活動を支援するとしています。

補助金廃止後、どのような変化が生じると予想されるか、またどうなるのが望ましいのかについては、新聞報道等で見える限り、経営規模が零細な農家が多い中山間地域の農業にとっては、厳しい経営環境になったというのが率直な感想です。

平成22年度から施行された農業者戸別所得補償制度は、生産調整未達成によるペナルティが廃止され、加入するかどうかは個々の農家の判断となったことから、本町の加入者数は平成23年度の216名から平成25年度には165名へと減少しました。この理由は、高齢化した零細農家から比較的規模の大きい農家へ農地の集約が進み、販路を持っている大規模農家が、戸別所得補償に加入するメリットが少ないと判断したためと考えられます。この流れを受けて、交付単価が半額となる来年度には、加入者はさらに減少するものと予想されます。一方で、国が強く推進している新規需要米、飼料用米や米粉用米への転換については、10aあたり最大105,000円の交付金があり、この制度を活用して主食用米から新規需要米に誘導し、有利販売を実現していくことが、当面取り組むべき課題であると考えています。

本町では、水田の作付面積が50a未満の農家が過半数を占めており、そのほとんどが自家消費のために米を栽培する自給的農家です。しかし、高齢化等により農業経営を諦め、大規模農家に農地を任せる動きが加速しているとともに、条件の不利な山あいの田については受け手が現れず、耕作放棄地となるケースが増えつつあります。このため、町行政としては、町全域を対象に現在策定している「人・農地プラン」をベースにして、有利な補助金や交付金を活用しつつ、貴重な財産である農地をだれがどのように守っていくのかを地域住民と一緒に考え、具体的な方策を明示したいと考えています。また、中核となる販売農家と自

給的農家の役割分担、共存方法を模索するとともに、集落営農の導入や農業生産法人の活用などについても、真剣に取り組んでいきたいと考えています。担い手確保の問題は、もはや個々の農家で解決できる範疇のものではないと感じています。地域農業の最大の懸案であるこの問題に、行政も積極的に関与して、瑞穂の国・日本の原風景であるふるさとの農地を、地域ぐるみでしっかりと守っていく仕組みを作っていきたいと考えています。

② 大小規模農家と農地の再編はどう進むと予想されるか、耕作放棄地の拡大を防ぐ方策如何。

町長 答弁

条件の良い農地は今後、大規模農家へある程度集約されて、自給的農家は徐々に減っていくと予想されます。しかし、国が想定しているように、地域内の8割もの農地を特定の大規模農家が担うことは、地域の特性から非常に困難であり、そこに販売農家と兼業農家の役割分担の必要性が出てくると考えています。特に、中核となる認定農業者は、現在町内で29名が登録され、地域農業のリーダーとしての役割を強く期待しているところであり、行政としても可能な限り経営基盤強化のための支援を積極的に行うとともに、新たな認定農業者の育成にも取り組んでいきたいと考えています。また、自給的農家が所有する水田についても、多面的機能を維持する観点から、農林公社のアグリレスキュー事業の拡充など、耕作放棄地とならないような手段を講じていきたいと考えています。

③ 農業生産法人や民間企業の参入見通しはどうか。

町長 答弁

町内の農業生産法人は松野町農林公社だけであり、現在のところ4カ所の農地でブルーベリーと梅の栽培を行っています。また、新しい動きとして、吉野部落奥田池の改修工事に伴い、上在、豊盛集落で来年は米の作付ができなくなることから、民間法人が平成27年2月まで利用権を設定して、約16・7haの水

田でキャベツを栽培することとなりました。

今後の見通しでは、農林公社がこれまで以上に管理する農地を増やしてどんどん経営規模を拡大することは、経営環境的にも現実的でないため、あくまでも農林公社は新規導入作目の試験栽培、モデル農園の管理者としての範囲にとどめ、栽培が可能と実証されれば、認定農業者等に普及して産地形成を図っていくというスタイルを堅持するべきだと考えています。また、民間企業については、今後は農業をビジネスチャンスとして捉え、農地開発団地を中心に営農したいという申し出が増えてくるのではないかと予想しています。農地を借りたいとの具体的な話があれば、農業委員会と連携して斡旋にあたるとともに、「人・農地プラン」の中でも地域の主要な担い手として位置づけ、地域内の販売農家、自給的農家との役割分担を明確にし、共存共栄で農地を守っていく体制を構築したいと思っています。

④今後、中山間地域の町づくりは、どのような戦略が必要と考えられるか。

町長答弁

松野の農業の振興を図るためには、町内16カ所、111haの農地開発団地の再生が不可欠であると考えています。その方策としては、4本の柱となる事業、「森の国ブランド」による6次産業の推進、「民間企業等による大規模な有機農業の導入」、「和菓子メーカーとの連携協定による原材料供給」、「高齢者向けの新規軽量作目の産地化」を複合的に組み合わせ、市場競争力の高い農業を実現したいと考えています。

本町のような中山間地域の農業は、過疎化高齢化の進展による担い手不足、鳥獣被害の増大などに加え、主力である米をはじめとする農産物価格の下落や生産コストの増大など、非常に厳しい経営環境に晒されています。しかし、松野町には、先祖代々受け継がれてきた貴重な水田があり、里山開発で誕生した近代的な生産団地があり、そして農家に蓄積された豊富なノウハウと卓越した技術があります。これらの資源を

最大限活用して、関係機関、団体の支援・協力を受けながら、農家と一緒に激動の時代を乗り切っていきたいと決意しています。

村尾 重利 議員

森の国ブランド化事業の推進について

①青空市場売上げ向上対策は、どのように取り組んでいるのか。大規模改修、農家の出荷計画は進んでいるのか。

町長答弁

青空市場の売上げ対策については、青空市場役員会で熱心に協議していただいているほか、虹の森公園の指定管理者である共立メンテナンスとも、常に問題意識を共有し対策を検討しています。また、産業振興課と県鬼北農業指導班、JAえひめ南鬼北営農センターと連携して、青空市場会員の営農状況や生産実績、今後の経営方針などの聞き取り調査を行い、農家個別台帳を作成して普及と指導にあたっています。その結果、課題として抽出されたのが、屋外型の売り場であるため利用者に快適な買い物環境を提供できず、商品の鮮度を保持した安心・安全管理も困難になっていること、売り場のレジが散在しているため、経営的に非効率であること、さらには会員の高齢化によって出荷量、品揃えが減少していることなどであり、これらの対策として、屋内型売り場への転換、レジ業務の集中化と省力化、営農指導体制の強化などに取り組むこととしています。また、商品の品質管理を徹底して安全・安心な売り場にするともに、会員個々と相談して豊富で魅力ある品揃えを適正な価格設定で実現し、さらには青空市場の商品を使った料理方法を情報発信するなど効果的なPRにも取り組んでいきたいと考えています。

②担い手対策で、人・農地プランの策定は進んでいるのか。

町長答弁

人・農地プランは、人と農地の問題を地域ぐるみで

解決するために、地域農業のマスタープランとして、平成24年度から25年度にかけて全国で作成されているものです。本町においては、昨年度、このプランの策定メリットでもある青年就農給付金の対象者がいる富岡、奥野川の2部落において、プランを策定済みです。今年度については、対象地域をこれまでの部落単位から、松丸、吉野生、目黒地区の3地区に見直すこととし、対象地域を拡大して策定作業を進めています。

進捗状況は、9月に10a以上の農地所有者を対象にしたアンケート調査を実施・集計し、11月から地元説明会を開催しています。これまでは、11月14日に目黒地区、12月2日に吉野生地区で説明会を開催し、プランの趣旨を説明して作成の同意を得ており、松丸地区においても1月中旬に開催する予定です。地元説明会では、このプランの必要性やメリット、アンケート集計結果を報告するとともに、各地区の認定農業者等を中核とする経営体として位置づけて策定していくことで理解を得ています。

各地区での説明会終了後には、3地区のプランの原案を担当課が作成し、県や農業委員会、農協、認定農業者連絡協議会をはじめとする各種団体の役員による検討会にて内容を協議し、今年度中には全町域を網羅した「人・農地プラン」を策定する計画です。

なお、「人・農地プラン」については、随時、見直すことができることから、新たな新規就農者や法人等が出てきた場合などは、その都度、見直しを行っていきます。

今後の松野町の農業を展望する上で、担い手の確保は最大の難問であると思っています。それぞれの農地をだれがどのように守っていくのか、このことは個々の農家だけで解決できる問題ではなく、地域ぐるみ、集落の総意で取り組まなければならないと考えています。その第一歩としてこの「人・農地プラン」を位置づけることができれば、地域にとっても大変意義のある事業となると考えています。

12/15

森の国ふれあいまつり

森の国ふれあいセンターで「森の国ふれあいまつり」が開催されました。この催しは人権啓発を目的としたもので、当日は地元バンド「ゆずの香り」や「鬼城太鼓」によるパフォーマンズライブ、「あおぞら子ども会」による活動報告などが行われました。また、有志によるうどんやフライドポテトの販売や、もちまきなども行われ、寒い中でしたが、多くの来場者で賑わいました。

会場には小中学生の姿も多く、子どもたちにとっても、楽しみながら人権感覚を養うよい機会になったのではないのでしょうか。



12/22

松丸地区門松づくり教室



町民センターで門松づくり教室が開催されました。この教室は、主に西小学校の児童を対象に、松丸地区公民館が主催しているもので、児童と保護者約50名が参加しました。

参加者は、持参したペットボトルに竹を並べ、松や梅の枝などを思い通りに装飾し、世界にひとつしかない門松を作りました。作業終了後は、参加者全員で後片付けをし、自作の門松を手に記念写真を撮影しました。また、公民館役員らによって作られた巨大な門松は、町民センター前に1月15日まで飾られ、松丸の街道に新年の華やかさを際立たせていました。

12/26

吉野生公民館しめ縄教室

吉野生公民館でしめ縄づくり教室が開かれました。この教室は、東小学校の児童を対象に老人クラブの協力で毎年行われているもので、伝統行事の継承と世代交流の場となっています。当日は、30人の小学生と一般参加者4名、老人クラブの会員7名が参加し、門締めづくりにチャレンジしました。

古川公民館長のあいさつの後、参加者たちは、宇治惣市さんから正月飾りの由来や使用する材料や手順について説明を受け、作業を開始しました。

今回は参加人数が多かったため1年生から3年生までの15名は、キットを使った輪締めを作りました。折り紙での扇や御幣を作る作業では悪戦苦闘していましたが、松や梅などの造花と一緒に飾りつけてみると予想以上の仕上がりで、嬉しい笑みがこぼれていました。毎年参加している小学生になると、我が家の門締めづくりは自分の仕事と自負して参加する子どもが多く、手際よくきれいな門締めと輪締めを仕上げました。作業の後には、老人クラブのおばあちゃんたちが作ったカラーを参加者全員でおいしくいただきました。



12/28

フラワーアレンジメント教室

吉野生公民館でフラワーアレンジメント教室が開かれました。

この教室は、吉野生地区公民館と目黒地区公民館が地域の女性を対象に、お正月用の生け花で潤いのある時間を過ごしてもらおうと合同で実施したもので、47名が参加しました。参加者は、松や千両、ランなどお正月にふさわしい花を、それぞれの感性で手際よく活けこみ、オリジナルなお正月飾りを作りました。

この教室は、吉野生公民館の恒例行事となりました。今年も楽しい公民館行事にご参加ください。



1/8

松野中学校使用式



松野中学校新校舎の使用式が1月8日に行われ、町内各種団体の代表者や、議員、学校関係者、工事関係者などが多数出席しました。体育館でPTA主催の神事が執り行われた後、生徒らを交えてテープカットやくす玉割りが行われました。使用されたくす玉は生徒たちの手作りで、くす玉が割れた瞬間には、大きな歓声と拍手があげられました。

式典では、生徒代表の黒澤虎之進さんが、「入学当時に、木材の伐採現場を見学に行った。その時の木が柱や梁に使われているのに感動した。夏には炎天下、冬には寒空の下で校舎の建築に力を入れてくださった工事関係者にお礼を言いたい。」と感謝の言葉を送りました。

また、13日には新校舎の完成見学会も行われ、新しい木造校舎を見ようと、たくさんの人たちが訪れました。

1/10

ウォーキングアドベンチャー

1月10日から11日にかけて、ウォーキングアドベンチャーが開催されました。これは松野町体育指導委員会が毎年、企画・主催しているもので、四万十市西土佐から中村までの約45kmを歩いて朝日を見ようというイベントです。

第21回目となる今回は、町内外から29名が参加し、四万十市下田にある「とまろつと」を目指しました。一行は夜8時に四万十市の網代休憩所を出発し、5か所で休憩をとりながら約10時間の道程を歩きました。四万十川沿いの峠道を、自前の懐中電灯で照らしながら一歩一歩進み、旧中村市に入り、視界に太平洋が飛び込むとラストスパートです。参加者たちはかじかんだ両足に鞭打って、ゴールに向かい、参加者全員が完歩しました。

ゴールの「とまろつと」に到着した一行には、スナップから温かいうどんが振る舞われました。うどんを頬張った参加者からは、達成感と安堵感からか笑顔がこぼれていました。

太平洋から朝日が昇ると、参加者からは歓声があり、最後に記念撮影を行い、イベントは無事終了しました。





人権の広場

～大島青松園訪問を通じて～

7月29日(月)、あおぞら子ども会で、香川県高松市の大島青松園に行きました。大島に行ったのは、ハンセン病元患者である本田さんと磯野さんからお話を聞くためです。

ハンセン病とは、「らい菌」に感染したことで起こる病気です。感染病ではありますが、感染力が極めて弱く、患者と接触してもほとんどうつることはありません。日本では、1907年明治40年)にらい予防法が制定され、ハンセン病の患者を強制的に療養所に収容しました。1943年(昭和18年)によく効く薬が発見され完全に治る病気になったにもかかわらず、日本政府は、らい予防法を廃止することなく、隔離を続けました。やつと廃止されたのは1996年(平成8年)、小泉政権のときです。

島の中心にあるホールでお二人のお話を聞きました。それによると、療養所とは名ばかりで、入所するとすぐに重病の患者の世話をさせられたそうです。病気が進行すると、手足の末梢神経が麻痺することにより、手足が動かなくなったり、失明したりします。そんな患者の世話を、まだ十分に動ける患者がしていたのだと聞きました。また、お話の中で、動かなくなつた患者の手の指を、まるで植木の剪定をするように切断されたと言われました。患者の気持ちも考えず、人としての尊厳も守られないままこのような行為が行われてきたのだと思うと、とても腹立たしくなりました。また、島外に出ても、絶えず人の目を気にしなければならず、特に飲食店に入ったときは、店員から露骨に差別的な態度をとられることがあつたそうです。

つらい差別を受けてきたにもかかわらず、「昔は地獄、今は天国」と本田さんは明るくおっしゃいました。現在の大島青松園は、入所者が安心して生活できる環境が整っています。しかし、らい予防法が廃止された今でもハンセン病への理解が十分であり、差別が無くなったわけではありません。本田さん、磯野さんのお二人は高齢でありながら各地に出向かれ、自分たちの体験をもとに、差別解消に向けて精力的な活動をされています。帰りにそんな前向きなお二人と握手をしています。こちらまでが元気をいただいているような気がしました。

ハンセン病に限らず、世の中のいろいろな差別問題は、まがった情報を感じ込んだり、人を見た目で判断したりすることが原因の一つだと思えます。子どもたちが科学的な根拠のないことを信じていることのないよう、また、見た目で人を判断することのないよう指導をしていきたいと思います。

松野西小学校 教諭 高田 晃

森の国歴史発見！文化財通信

山城の調査を行いました

松野町では、現在河後森城跡を含めて合計17の山城が確認されています。みなさんはご存知ですか。これら山城の特徴や性格を明らかにするため、松野町では「松野町内遺跡発掘調査等事業」のなかで町内の中世山城を調査しています。

その一環として、12月14、15日に支城の調査を行いました。城郭研究者の日和佐宣正氏を招いて調査と現地指導を行いました。

調査では、実際に山城を歩き、距離を測つて図面を作成しました。この図面を「縄張図」と言います。縄張図を作成することによって、城のつくりや大きさが分かるようになります。

町では、継続的に河後森城の調査を行っています。このように、河後森城以外の山城の調査も並行して行うことにより、河後森城とその他の山城との関係、ひいては山城での攻防や当時の人々のくらしを明らかにしていきたいと考えています。



山城調査の様子

まちの投句箱

葛句会 十二月例会句会 於 町民センター

介護とは寄り添ふ心星月夜 伊藤 富子
 手術待つ今日も完食新生姜 岡本 京子
 生きて尚さても二年日記買ふ 金谷 重子
 時雨る、や風呂焚きはじむ青煙 金谷 文恵
 高知城視野に収めて冬の旅 木下三千恵
 巻き網の漁火揺れし冬銀河 駒山 忠夫
 ほうかぶり農一徹の父の指 谷 きよし
 冬の朝パリ地下鉄の異人の目 布 久光
 冬晴れやモンマルトルの丘に立つ 布 康江
 城址より望む街並川涸れて ひのたいら
 冬の日のシヨパンバード無限に悲し 古谷 香
 マンデラの巨星落ちたる年惜しむ 宮崎きくを
 旅に立つ小春日和をたまはりて 森田 すみ
 紅い薔薇一輪や冬日射す 山下スミ子

吉野句会 十二月例会句会 於 吉野公民館

田の絵文字いつか刈られて冬に入る 赤松 午子
 右向けば右に用ある年の暮れ 稲谷キミ子
 耕やせる冬田に群るる鳥かな 上田みち子
 冬空や黒雲脱ぎて朝日さす 岡本 三葉
 あれこれと眠れぬ冬の夜の長き 竹内サダ子

俳句のポスト投句作品優秀句 十二月投句分

《不器男記念館》

薄日さす不器男の句碑に落葉積む 松山市 稲荷 光乃
 ふるさとや生家に熟る柿は母 松崎町 郷田喜久江
 石路咲けり不器男のやさし筆のあと 松山市 寺坂多喜子
 自在鉤四代経たる竹の艶 松山市 中路 久江

平成26年の区長さん・組長さんが決定しました。

組名	氏名	組名	氏名	組名	氏名	組名	氏名
松丸		1番組	中脇 優	9区	生谷 博樹	吉野	
区長	井上 六廣	2番組	関本 光彰	住宅組	山下 潤也	区長	丸身 和男
新町	中湯 正志	3番組	関本 庄一	富岡		町組	金谷 博文
駅前通	中宇 禰一郎	4番組	畔地 忠夫	区長	森田 守	上在	長谷 信昭
本町1	友 重隆	5番組	山田 龍治	古市場	正木 憲藏	豊盛	橋本 賢一
本町2	新城 久志	6番組	関本 昭二	地吉	伊藤 秀樹	西組	竹内 学
本町3	高田 慎治	7番組	山田 榮	久米地	橋本 吉一	梁瀬	安西 博文
東新町	上山 喜堅	8番組	谷口 健二	富民	三好 良一	葛川	戸根 正人
西天満	宮 崙 悟	9番組	森口 蓮子	小屋の川	奥野 要助	藤生	
東天満	伊藤 統康	10番組	今泉 哲男	上家地		区長	金谷 純一
礁崎	酒井 博司	11番組	山吹 明	区長	村田 和宏	鳥居	岡本 直訓
向井	谷口 喜美	12番組	山口 利廣	1区	竹葉 新市	鈴井	金谷 澄朗
祝井	武内 正紀	住宅組	山田 慎一	2区	松本 清高	真土	金谷 文雄
延野々		豊岡前		3区	浅井 侃	谷口	藤井 勝利
区長	小林 健一	区長	堀口 計敬	目黒		延行	金谷 省一
東組	一森 大岳	1区	松浦 隆志	区長	岡田 春喜	奥内	八十島 慶吾
仲組	井上 邦光	2区	山下 美彦	下組	河野 治	奥野川	
野尻	岡 弘明	3区	井上 吉市	中央1	岡村 正一	区長	榎本 孝幸
住宅組	高橋 泰行	4区	竹岡 靖	中央2	木下 實	下組	金谷 文雄
古井谷	谷口 幸正	5区	福田 寛	国木谷	山本 至	本村	川添 保
五郎丸	井上 義晴	6区	増川 賢二	西の川	岡部 博文	中組	氏本 義勝
豊岡後		7区	戎 一夫	上目黒	高木 重信	上組	滝口 博臣
区長	大野 久	8区	日平 治男				

お誕生おめでとうございます (敬称略)

(住所) (保護者) (出生児) (性別)

豊岡 上川 聖貴 夢 (女)

吉野 坂尾 凌二 来 (女)

健やかな成長をお祈りいたします。

お悔み (敬称略)

(住所) (死亡者) (享年)

吉野 柳野 秋子 82歳

豊岡 谷口ユキコ 86歳

上家地 亀川 安久 86歳

豊岡 寄口スミコ 93歳

松丸 松田 千鳥 83歳

豊岡 岡本トミエ 92歳

目黒 山口 喜靖 78歳

松丸 三好 恭子 81歳

豊岡 宮崎 光 30歳

延野々 上野 末子 80歳

松丸 谷口ユキエ 92歳

ご冥福をお祈りいたします。

☆ご寄付お礼 (敬称略)

☆社会福祉協議会へ

居村 竹市 松野町

佐々木謙輔 松野町

亀川 君子 松野町

岡本 駿 松野町

三好 秀二 松野町

山口 貴志 宇和島市

ありがとうございます。

町の人口 平成25年12月31日現在 ※外国人を含みます。

世帯数 2,037世帯 (-3世帯)

総人口 4,321人 (-8人)
男2,030人 女2,291人
(12月中の異動)

○出生 2人 ○死亡 13人
○転入 16人 ○転出 13人

在りし日の不器男徳べば葛揺れる
松山市 片岡 寿子

《虹の森公園》
小春日や道後石手寺大提灯
松野町 駒山 忠夫

野良猫の大きな欠伸冬ぬくし
鬼北町 中尾 正

医務室にかすかに香る黄菊かな
鬼北町 松田ツル子

《目黒ふるさと館》
冬空に半月冴えて白くあり
松野町 田中志津代

暮れ早しおでんの鍋の煮立つ音
松野町 田中志津代

カニサボテン子よ故郷はここにあり
松野町 田中志津代

ストーヴの燃ゆ音聞きつ句を詠めり
松野町 田中志津代

各種無料相談所の開設

行政相談

- 〔日時〕 2月10日(月) 午前10時～正午
- 〔場所〕 町民センター 婦人室
- 〔内容〕 行政に関する苦情や要望
- 〔相談員〕 行政相談員(有馬節男)
- 〔心配ごと相談〕
- 〔日時〕 2月10日(月) 午前10時～正午
- 〔場所〕 町民センター 老人室
- 〔内容〕 心配ごと相談
- 〔相談員〕 民生児童委員
- 〔人権相談〕
- 〔日時〕 2月10日(月) 午前10時～正午
- 〔場所〕 町民センター 老人室
- 〔内容〕 人権相談
- 〔相談員〕 人権擁護委員

松野町嘱託職員・臨時職員募集

- 採用職種及び人員
保育士2名 調理員2名 看護助手1名
事務補助員若干名
- 受験資格
日本国籍を有する人
地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人
※保育士は保育士資格(保育士登録済み)及び幼稚園教諭免許取得者で通勤可能な人
※その他の職種については町内在住者
- 採用年月日 平成26年4月1日
- 試験の日時 2月16日(日) 午前9時～
- 受験申込手続
松野町嘱託・臨時職員採用試験受験願書・履歴書を役場総務課まで提出してください。
- ※願書・履歴書は役場総務課に備え付けてあります。
- 申込期限 平成26年2月7日(金)
- 問合せ先 総務課 ☎42・1111 (内線219)

臨時福祉給付金のご案内

平成26年度分の市町村民税(均等割)が課税されない人は臨時福祉給付金の給付対象者となる可能性

町県民税の所得申告の受付及び相談について

平成25年分の所得申告の時期となりました。日程表のとおり、地区ごとに申告の受付及び相談を行います。地区によっては日程を2日間としていますので、割り振りをよくご確認の上、お越しください。町県民税の申告所得額は、国民健康保険税等の算定基礎にもなりますので必ず申告してください。なお、小額年金のみの人など、申告不要の場合もありますので、ご不明な点は町民課税務係まで問い合わせください。

- 申告の対象となる所得 平成25年1月1日から平成25年12月31日までの所得
 - 対象者 平成26年1月1日現在、松野町に住所を有する人
 - 申告に必要なもの
 - 給与、公的年金のある人はそれぞれの源泉徴収票
 - 事業(農業・営業・その他)の収入支出のわかる帳簿、書類
収入……1年間の収入、売上等がわかる書類
支出……農機具、備品、原材料等の購入契約書、または領収書(通帳に記載があれば通帳をお持ちください)
 - 一時所得(生命保険の満期の受け取り等)のわかる書類
 - 医療費控除を受ける人は支払った医療費の領収書と、保険の戻りがわかる書類
 - 生命保険料及び地震保険料(長期損害保険料)の「支払保険料の証明書」
 - 住宅借入金(取得)等、特別控除を受ける人は「登記簿謄本」「売買契約書」「請負契約書」「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」など
 - 国民年金保険料、社会保険料等の支払額がわかるもの
 - 障害者控除(扶養控除の障害者も含)の適用を受ける場合は身体障害者手帳等
 - 印鑑
- ※税務署に所得税の確定申告をされる人は、この町県民税の申告は必要ありません。

〔所得申告の受付・相談の日程〕

地区名	対象組	月日	曜日	時間	場所
松丸	全組	2月17日	月	午前9時～午後3時	町民センター
延野々	東組 仲組 野尻 住宅組	2月18日	火	午前9時～午後3時	延野々集会所
	五郎丸 古井谷	2月19日	水	午前9時～正午	〃
豊岡後	全組	2月20日	木	午前9時～午後3時	豊岡後集会所
豊岡前	全組	2月21日	金	午前9時～午後3時	豊岡前集会所
富岡	全組	2月24日	月	午前9時～午後3時	富岡集会所
上家地	全組	2月25日	火	午後1時～午後3時	上家地集会所
		2月26日	水		
目黒	下組 中央1 中央2	2月27日	木	午前9時～午後3時	目黒基幹集落センター
	国木谷 西の川 上目黒	2月28日	金	午前9時～午後3時	〃
吉野	町組 上在 豊盛	3月3日	月	午前9時～午後3時	吉野生公民館
	西組 梁瀬(葛川)	3月4日	火	午前9時～午後3時	〃
		3月5日	水		
蕨生	鳥居 鈴井 真土	3月6日	木	午前9時～午後3時	蕨生集会所
	谷口 延行(奥内)(葛川)	3月7日	金	午前9時～正午	〃
奥野川	全組(奥内)	3月10日	月	午前9時～午後3時	奥野川住民センター
	町内全域	3月9日	日	午前9時～午後3時	町民センター

※延野々、目黒、吉野、蕨生地区は、組ごとに期日を分けていますが、都合の悪い場合はどちらで申告しても構いません。
()の組は、上記の2つの会場のうち、どちらの会場で申告しても構いません。上記の地区日程で都合が悪い場合は、3月17日までに役場町民課(税務係)で申告してください。
※役場町民課で申告をする人は、地区日程以外の日をお願いします。(担当が各会場に出ており不在です)
※期間中に申告をしないと、諸控除の適用、国民健康保険税等の軽減判定、臨時福祉給付金の該当判定ができない他、所得証明等の発行に支障が出る場合がありますのでご注意ください。

4 問い合わせ先 町民課 税務係 ☎42-1111

- あります。
臨時福祉給付金とは？
平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられますが、所得の低い人への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給する予定です。
- 給付対象者
平成26年度分市町村民税(均等割)が課税されない人が対象です。
ただし、ご自身を扶養している人が課税される場合や、生活保護制度の被保護者となっている場合は対象外です。
- 給付額
①給付対象者1人につき1万円
②給付対象者の中で左記に該当する人は5千円を加算
・老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者など
- 申請手続(6月中旬以降の予定です)
・申請先は、基準日(平成26年1月1日)において住民登録がされている市町村となります。
・申請・支給手続については、現在準備中です。
- お問い合わせ先
町民課総務福祉係 ☎42・1113

国民年金保険料の納付方法について

国民年金保険料の納付方法として「2年前納（口座振替）」が始まります。

平成26年4月末の口座振替分より、割引額のより大きな2年前納が利用できるようになります。

メリット1 2年間で14,000円程度の割引となります。

メリット2 2年前納分の全額がその年の社会保険料控除の対象となります。

メリット3 口座振替を利用することにより納め忘れを防ぐことができます。

2年前納は口座振替のみご利用が可能です。お申込み期限は毎年2月末までです。詳しくは宇和島年金事務所へお問い合わせください。

ねんきんQ&A

保険料免除・猶予等を受けた期間はどのようなもの？

保険料の全額免除・一部免除（一部納付）・納付猶予・学生納付特例の承認を受けた期間は、年金を受け取るための資格期間になります。保険料を定額納付したときに比べ、老齢基礎年金額が少なくなります。

これらの期間は、10年以内であれば保険料を後から納めて、定額保険料を納付したときと同じにすること（追納）ができます。

※一部免除については、減額された一部保険料を期限内に納付していることが条件です。

保険料免除等の承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降に追納する場合、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。追納をご希望の場合は、申し込みが必要となります。

税務署からのお知らせ

税務職員を装った者からの不審な電話にご注意ください。

国税局や税務署の職員を名乗る者からアンケートや年金受給調査と称して、個人情報を出さそうとする事例が多発しています。不審な電話があった場合には、最寄りの税務署にお問い合わせください。

お問い合わせ先 宇和島税務署総務課 ☎22・4511

地域伝統文化キッズ・カーニバル開催!

和太鼓や伊予万歳など愛媛の多彩な伝統芸能を子どもたちが熱演。茶道や俳句、ちぎり絵なども体験できます。

- 日時 2月23日(日) 午前10時～午後3時30分
- 場所 ひめぎんホール(松山市道後町)
- 問い合わせ先 県文化・スポーツ振興課 ☎089・912・2972

南楽園梅まつり

園内約160本の梅が次々と咲き、1カ月にわたって花見が楽しめます。また、設置面積40㎡の座敷の展示や梅見茶屋の設置も行います。

- 日時 2月1日(土)～3月2日(日) 午前9時～午後5時
- 入園料 大人300円、子ども150円
- 問い合わせ先 南楽園(宇和島市津島町) ☎32・3344

金地金で分割前払い・・・?!

【事例】

訪問販売のセールスマンに勧められて、契約内容はよく分からないまま、契約書に指通り記入し、500万円支払った。しかし、家族が契約書を確認すると、契約時に支払ったお金は頭金のようなもので残りは月6万円ずつ25年間積み立て、全額を払い終えたら、金地金を受け取れるという総額2000万円の契約だった。そんなに高額で長期の契約だと思わなかったため、解約を申し出ると手数料200万円を差し引いて返金すると言われた。

●60歳以上の人に25年以上の分割前払いの金地金の取引を行わせているという手口が多く見受けられます。特に70歳代から80歳代で契約した場合は金地金の現物の受け取りが100歳を超える場合もあります。

●契約してから購入代金の全額を払う期間は金地金の現物を受け取ることができないため、所有権は移転しないという取引内容になっています。しかし、事業者が倒産したり、連絡不能になる恐れもあり、金地金が確実に受け取れるという確固たる保証はありません。

●契約時の手数料に加えて中途解約時にも手数料が必要となつているため、中途解約した場合に高額な手数料を差し引か

宇和島地区広域事務組合職員募集

(臨時職員) 労働保険、社会保険に加入。ボーナスの支給があります。

職種	人数	業務内容等	賃金(日額)	採用年月日・勤務地	応募資格
介護職員	5人	老人福祉施設の介護業務 ※週38時間45分勤務、 週休2日制、夜間勤務あり	介護福祉士資格 6,950円 上記以外 6,550円	平成26年4月1日 宇和島市又は愛南町 内の老人福祉施設	なし
栄養士	2人	福祉施設の栄養士業務 ※週38時間45分勤務、 週休2日制	栄養士資格 6,950円 管理栄養士資格 8,250円	平成26年4月1日 宇和島市内の福祉 施設	管理栄養士資格 又は栄養士資格者
調理員	2人	福祉施設の調理業務 ※週38時間45分勤務、 週休2日制、早出・遅出 勤務あり	6,350円	平成26年4月1日 宇和島市又は愛南町 内の老人福祉施設	

- 雇用期間 採用から2年間。ただし、別に指定する資格の有資格者は、1年後から嘱託職員への切替制度があります。
- 試験 面接試験(応募者に別途連絡)
- 応募要領 市販の履歴書に写真を貼り、希望職種を記入の上、資格の必要な職種は資格証の写しを添えて提出してください。
※応募書類は返却しません。
- 受付期間 平成26年2月3日(月)～2月20日(木)(執務時間中) ※郵送の場合は必着
- 提出先 〒798-8601宇和島市曙町1番地 宇和島地区広域事務組合管理課人事係 ☎22-8664

れるため、納得いかないというトラブルが多くみられます。必ずもうかるなどといった事業者の説明をうのみせず、取引内容を書面によく確認し、不明な点がある場合には契約せずはつきり断ることが大切です。電話勧誘販売や訪問販売により契約した場合には、クーリングオフできる場合もあります。トラブルにあつたらすぐに最寄りの消費生活センターに相談しましょう。困ったときは、ピピッと相談!

①産業振興課 ☎0895・42・1116
②愛媛県消費生活センター ☎089・925・3700

2月の森の国行事予定表

日	曜日	予 定	■ ……休日当番医 ■ ……古紙類回収日	■ ……可燃物回収日	■ ……不燃物回収日
1	土	森の国人権の集い			
2	日	普善家外科脳神経外科☎22-1484 普和霊町松浦内科☎23-1510	普こおり小児科☎24-5633 普あべ医院☎32-2616		
3	月			可葛川以外町内全域	
4	火			不豊岡・延野々・富岡・目黒・上家地	
5	水			可上家地以外町内全域 古豊岡・延野々・富岡・目黒	
6	木			不松丸・吉野・蕨生・奥野川	
7	金			可葛川以外町内全域 古松丸・吉野・蕨生・奥野川	
8	土				
9	日	消防出初式 普二宮整形外科☎25-8600 普宇都宮内科胃腸科☎25-7228	普やくしじこどもクリニック☎24-1386 普松野町国保中央診療所☎42-0707		
10	月			可葛川以外町内全域	
11	火	普加藤整形外科☎22-7111 普吉田内科泌尿器科医院☎25-1330	普山下小児科☎23-0055 普市立吉田病院☎52-0611	不豊岡・延野々・富岡・目黒	
12	水	乳幼児健診（保健センター）		可上家地以外町内全域 古豊岡・延野々・富岡・目黒	
13	木			不松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
14	金			可葛川以外町内全域 古松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
15	土				
16	日	普小川クリニック☎23-3599 普松澤循環器内科☎25-5858	普こおり小児科☎24-5633 普口羽外科胃腸科医院☎32-5000		
17	月			可葛川以外町内全域	
18	火			不豊岡・延野々・富岡・目黒・上家地	
19	水			可上家地以外町内全域 古豊岡・延野々・富岡・目黒	
20	木			不松丸・吉野・蕨生・奥野川	
21	金			可葛川以外町内全域 古松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
22	土				
23	日	第60回不器男忌俳句大会 普植木整形外科医院☎22-0022 普笹岡内科☎24-3886	普こばやし小児科☎23-1150 普永井内科医院☎32-6688		
24	月			可葛川以外町内全域	
25	火			不豊岡・延野々・富岡・目黒・上家地	
26	水			可上家地以外町内全域 古豊岡・延野々・富岡・目黒	
27	木			不松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
28	金			可葛川以外町内全域 古松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	